

灯

～京都の中学生が修学旅行で平和会館周辺を清掃～ ろう磨きで心を磨く

京都の^{らくなん}洛南高等学校附属中学校3年生の生徒243人が知覧特攻平和会館周辺の石灯ろうを清掃しました。

今年で5回目となる清掃作業は、「ただ見学するだけではなく、実際に体を動かすことも平和学習の一環」として平成22年から始まりました。

生徒たちは、戦時中に同世代だった先人の気持ちを想像しながら、灯ろうを丁寧に磨いていました。

また、翌23日から市内で2泊3日の民泊も行い、地元受入家庭での日常の暮らしを体験しながら交流を図り、一生の思い出を作っていました。



▲活動の前に、生徒代表の小松さんが「特攻隊員の思いを深く感じ、約70年前に起こった悲劇を忘れないよう心から磨きたい」とあいさつ。



▲戦争で犠牲となった先人を思い、また、今ある命に感謝しながら灯ろうを磨く生徒たち。

地

～第22回ホタルのタベコンサート～ 域で取り組む「ホタルの里」

5月20日、旧神殿小学校講堂で第22回ホタルのタベコンサートが行われました。来場者には、お米や野菜などがもらえる抽選会や神殿みかんが振る舞われました。神殿の子どもたちによる神殿ホタル太鼓の力強い演奏と川辺フィルハーモニー管弦楽団のすばらしい演奏に来場者は聞き入っていました。コンサート終了後、会場近くの神殿川でホタル観察が行われ、ホタルが舞うごとに子どもたちの喜ぶ声が聞こえました。



▲川辺フィルハーモニー管弦楽団の演奏では、演奏の合間に各楽器についての説明や楽しい話があり、心和むコンサートとなりました。

平

～南九州市戦没者追悼式～ 和への誓いを新たに

5月17日、南九州市戦没者追悼式が知覧文化会館で行われ、顛娃、知覧、川辺の遺族会の方や関係者約200人が参列しました。南九州市長が式辞を述べた後、遺族会代表や来賓の皆さんが追悼のこぼしを捧げられました。顛娃町遺族会の山内廣行会長が、南九州市を担う子や孫たちへ悲惨な戦争の教訓を語り継ぎ、平和と命の尊さを伝えていくことの大切さを訴えられました。



▲参列者全員で献花をし、戦没者のご冥福を祈り平和への誓いを新たにしました。